

★農 A-1

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター 御中

申 請 書

別紙書類を添えて、有機農産物の生産行程管理者の認証を申請します。

☑をお忘れなく

(フリガナ) 申請者名	(アタミユウキセイサングループ) 熱海有機生産グループ	代表者	自農 太郎	書類等 受領方法
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 △△市 □□町 1-2-3			☒ 郵送
(事務連絡先)	〒 -			☐ 郵送
電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX 番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	☐ FAX
ホームページアドレス	(http://)	Eメール (携帯電話不可)	ninshou@ml.infrc.or.jp	☒ Eメール
申請日 (作成日)	20〇〇年 〇月 〇日			
認証以外の情報 (イベント情報 など) の受領を希望する	☒ はい ☐ いいえ (個人情報の取扱については、個人情報保護法に基づき認証に関する利用と左記の目的以外には利用しません)			
農水省ホームページへ事業者詳細情報の掲載を希望する	☒ はい ☐ いいえ 「はい」の場合は、別紙「有機 JAS 認証事業者一覧詳細 掲載希望回答用紙」の提出			

※「申請者名」は認証書に載せるため(事業者名)です。グループの場合はグループ名を、農家単独申請の場合は個人名や〇〇農園などと記入して下さい。

※所在地に有機 JAS 担当者(個人)「東海連絡生」に有機 JAS 担当者と連絡がとれる場所を記入して下さい。

※「書類等受領」に「はい」の場合は、別紙「有機 JAS 認証事業者一覧詳細 掲載希望回答用紙」の提出(住所)、FAX、Eメールから選択して□にチェックを入れて下さい(複数選択可)。

認証事業者は基本情報が公表されますが、これとは別に詳細情報(連絡先、ホームページ、取扱品目など)の公表も希望する場合は「はい」に☑して下さい。(別紙の提出も必要。)

★農 A-2

20〇〇年 〇月 〇日作成

生産行程の管理及び格付の体制

生産行程の管理または把握と格付を担当する者の全ての氏名を記入して下さい。

[illegible]

※上表に記載のある担当者は全員略歴書を提出する必要があります。

書 歷 略

(フリガナ) 氏 名		(ジノウ タロウ) 自 農 太 郎		生 年 月 日 19〇〇年 〇月 〇日		西暦 19〇〇年 〇月 〇日	
住 所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇〇市 〇〇町 1-2-3 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇					
略 歴	年 月 日		学歴・職歴・配属部署・就農			備 考	
	19〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇県立△△農業高等学校卒業			最終学歴を明記してください。大学等で農業生産に関する授業科目の単位を取得した場合はその併せて記載して下さい。	
	19〇〇年〇〇月〇〇日		〇〇農業試験場本科卒業				
	19〇〇年〇〇月〇〇日		J A 〇〇入社・営農指導に携わる				
			また兼業にて農業に従事始める				
	20〇〇年〇〇月〇〇日		J A 〇〇退社			いつから農業に従事かがわかるように記載下さい。	
	20〇〇年〇〇月〇〇日		専業農家となり現在に至る				
資格・賞罰等		講習会受講日※ (講習会開催機関名)		20〇〇年 〇月 〇日 (自然農法センター)			
〇〇年〇〇月	普通自動車免許						
年 月		以上の通り相違ありません					
年 月		20〇〇年 〇月 〇日					
年 月		氏 名		自 農 太 郎			
年 月							

※講習会未受講者は、受講予定日を記入して下さい。

★農 A-4 肥料及び土壌改良資材リスト (1 枚目)

20〇〇年 〇月 〇日作成 確認者: 自農 太郎

我々は本リストに記載した資材のみを用いて肥培管理等を行う事を報告します。下記内容を変更する場合は事前に報告します。

No	資材の正式名称 (愛称、略称等)	会社名	資材証明書の年月日 (評価済みリストを確認した日)	農 A-4 記載 年月日	使用目的	備考 (標準使用量等)
1	魚粕粉末 5 号 (魚 粉)	〇〇肥料(株)	2022. 10. 10	2022. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	
2	なたね油粕粉末 (油 粕)	(株)△△油脂	. 21		自家製資材 の原材料	
3	SMK 菌 (S M K)	□□微生物研究所	. 15		自家製資材 の原材料	
4	糖 蜜	◇◇製糖(株)	2022. 11. 20	2022. 11. 23	自家製資材ボカシ の原材料	
5	◎◎有機育苗培土 (◎◎培土)	◎◎培土開発(株)	2023. 2. 10	2023. 2. 20	育苗用土	
6	牛ふん堆肥 (牛ふん▼▼)	▼▼牧場	2023. 2. 15		元肥	年間 0.5~1t/10a
7	牛ふん堆肥 (牛ふん○×)	○×牧場	2023. 2. 19		肥	年間 0.5~1t/10a
8	スーパー■	バイオ■(株)	2023. 8. 15	2023. 8. 20	追肥	必要時に残布 (500~1000 倍 を 20~150 L/10a)
9	★★★★グリーン	★★★★製造所	2023. 12. 10 確認	2023. 12. 15	土壌改良 元肥	年間 1~2t/10a 登録番号 JASOM-123〇〇〇
10						

資材名、会社名は
資材証明書のとおり
に記載して下さい。資材証明書にある
発行日(証明日)を
記載して下さい。この表(農 A-4)への記載日です。
以後、資材を追加していく度に追
加日を記載します。No.6 と 7 のように、同じ資材
名であっても、メーカー(会
社)が異なれば別資材です。有機 JAS 資材評価協議会などの適合性評価済みリストに登録のある資材は、登
録を確認できれば使用可能です。同会の HP などで評価済みリストを確認した日を
記載、備考欄には JASOM-〇〇〇〇〇〇の登録番号を記載して下さい。

※自家製資材

※「資材の正式名称

※有機 JAS 資材評価協議会の適合性評価済み資材リストで、資材の適合を確認した場合は、「資材証明書の年月日(評価済みリストを確認した

※育苗に使用する培土、ほ場での肥培管理や土壌改良等に使用する資材を記載して下さい。自家製資材がある場合は、その原材料を
このリストに掲載し、製造方法を農 D-1「自家製資材の製造方法」に記載して下さい。※資材を追加する場合は、必ず使用前に資材証明書を取得し、当センターにその資材の適合の可能性を確認してから使用して下さい。
米ぬかや籾殻は外部入手のものでも資材証明書の取得は不要です。

★農B1-1

農A-1「申請書」の申請者名の欄に記載した名称を記載して下さい。認証後の生産行程管理者名です。

農 家 基 礎 台 帳

氏名の欄が「農家名」となります。農家が法人の場合は法人名で記載して下さい。

※生産行程管理者の中に所属する農家の情報として、この続き農B1-4まで、農B2-1～2-2、農C-1～C-2、農D-1等を農家の数だけ作成して下さい。

2000年 0月 0日作成

生産行程管理者名（フリガナ）	熱海有機生産グループ（ニホキセイサングループ）		
氏 名（フリガナ）	自農 太郎（ジノウ タロウ）（T・S・H 38年 2月 21日生 61歳）		
郵便番号・住 所	〒000-0000 00県 △△市 □□町 1-2-3		
電 話 番 号	000-000-0000	携 帯 電 話	000-0000-0000
F A X 番 号	000-000-0000	E-mail アドレス	ninshou@ml.infrc.or.jp
農 業 従 事 者	家族 4 人（ 本人、自農花子（妻）、自農大地（長男）、自農稲子（次女） ） 雇用 1 人（ 畑作次郎 ） 計 5 人		

※2重線枠内は記入しないでください

登録番号	
備 考	

★農B1-2

・ほ場の地番や面積の根拠を示す書類を併せて提出して下さい。
・登記簿上、複数の筆になっているほ場でも実際には1枚のほ場になっている場合は、1枚のほ場として申請して下さい。

有機ほ場 一覧※

農 家 名		自農 太郎																												
ほ場 番号	通称名	所 在 地 (番地まで記入してください)	所有地 借 地	面積 (露地はa)	有機管理 開始年月日	耕作状況																								
1	自宅裏1	〇〇県 △△市 □□町 1-2-4	所・借	28.5a	2012年10月9日	水稻																								
2	自宅裏2	〇〇県 △△市 □□町 1-2-5	所・借	28.5a	2012年10月9日	水稻																								
3	自宅裏3	〇〇県 △△市 □□町 1-2-6	所・借	108 m ²	年 月 日	しいたけ																								
4	駅裏1	〇〇県 △△市 □□町 563-1、564、565	所・借	40.5a	2011年12月15日	梨園																								
5	駅裏2	〇〇県 △△市 □□町 563-2	所・借	30.0a	2012年4月15日	畑																								
					日																									
			所・借																											
			所・借																											
			所・借		年 月 日																									
申請ほ場以外の耕作ほ場（無い場合には「0」を記入してください） <table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td>水田</td> <td>200</td> <td>a</td> <td>（ほ場枚数</td> <td>6</td> <td>枚）</td> <td>畑</td> <td>30</td> <td>a</td> <td>（ほ場枚数</td> <td>1</td> <td>枚）</td> </tr> <tr> <td>果樹園</td> <td>60</td> <td>a</td> <td>（ほ場枚数</td> <td>1</td> <td>枚）</td> <td>その他</td> <td>0</td> <td>a</td> <td>（栽培場等</td> <td>0</td> <td>棟）</td> </tr> </table>							水田	200	a	（ほ場枚数	6	枚）	畑	30	a	（ほ場枚数	1	枚）	果樹園	60	a	（ほ場枚数	1	枚）	その他	0	a	（栽培場等	0	棟）
水田	200	a	（ほ場枚数	6	枚）	畑	30	a	（ほ場枚数	1	枚）																			
果樹園	60	a	（ほ場枚数	1	枚）	その他	0	a	（栽培場等	0	棟）																			

日誌や記録に通称名（自身でほ場に付けた名称）を使用する場合は記載して下さい。通称名をつけなくても構いません。

複数の筆のほ場の場合は、全ての地番を漏れなく記載して下さい。

市町村名を省略せず地番まで正確に記載して下さい。

有機管理開始年月日は、生産管理記録等で、確認できる日付を記載して下さい。申請には、ここに記載した日付以降、1年以上の生産管理記録等の提出が必要です。

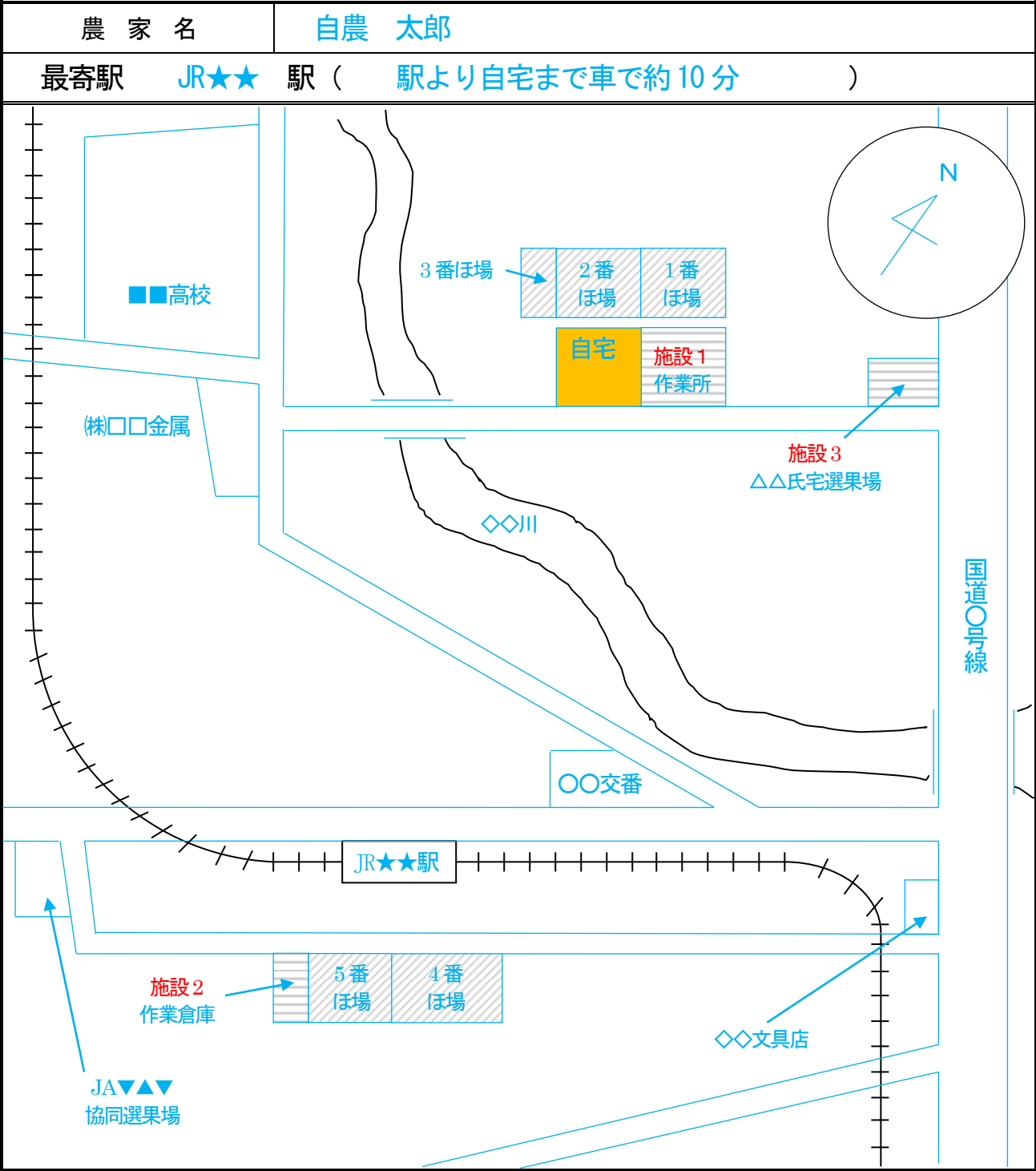
漏れなく記載して下さい。

※栽培場、採取場を含む。
面積：露地の場合はa（アール）で小数点第2位を四捨五入して、ビニールハウスの場合は平米（m²）で小数点第1位を四捨五入して下さい。

★農B1-3

20〇〇年 〇月 〇日作成

有機ほ場・施設などの位置概要地図



※有機ほ場、栽培場、施設及び自宅の位置関係が分かるように記入してください。

※検査員が有機ほ場等の位置を確認し易いように目印になる建物等があれば記入してください。

※自宅の敷地内に施設がある場合で、位置関係がわかりにくい場合は別紙に詳細を記入してください。

※有機ほ場、施設等が離れている場合は複数枚に分けて記入してください。

※右上の円内には方位を記入してください。

※役場や農協等から、地番・面積などの記載のある地図(字絵図、土地確定図)などが入手可能な場合は、それに有機ほ場や施設等の番号を書き込んで添付してください。

★農B1-4-①

20〇〇年 〇月 〇日作成

有機ほ場の周辺図

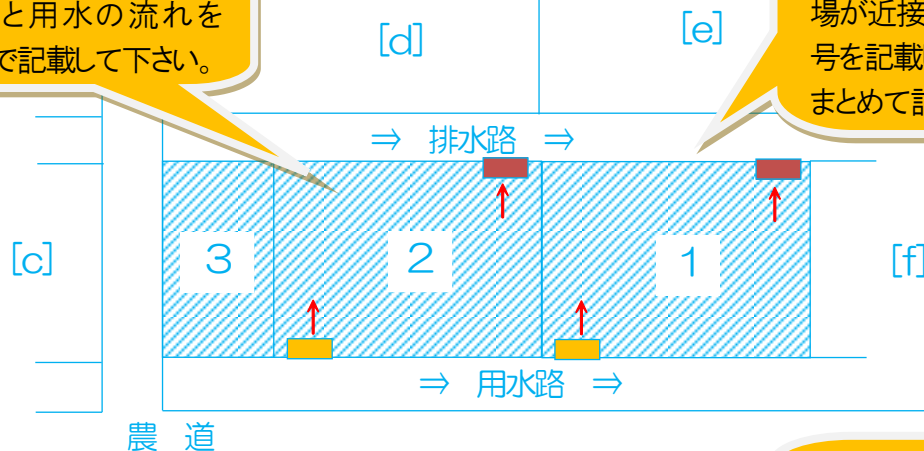
有機ほ場及び栽培場の周辺の詳細を記入してください。

有機ほ場一覧に記載したほ場番号を記載して下さい。

有機ほ場一覧に記載した通称名を記載して下さい。

有機ほ場は斜線を引くなどして分かりやすく記載して下さい。有機ほ場が近接している場合は、ほ場番号を記載して複数のほ場を1枚にまとめて記載しても構いません。

水田の場合は、入排水路の区別と用水の流れを「⇒」等で記載して下さい。



ほ場で使用する用水の水源名を記入して下さい。(例: 河川名、用水名、溜池名等)

用排水が兼用の水路の水を使用する水田は、原則、浄化水田(10 m²以上)の設置が必要で

用水の水源	〇〇用水 (◇◇川より)	浄化水田設置の必要性	有・無
	隣接地の土地利用	隣接地までの距離	汚染防止対策
[a]	自宅	6m	用水路と農道 (不要)
[b]	施設1作業所	6m	用水路と農道 (不要)
[c]	慣行水田	4m	農道 (不要)
[d]	慣行水田	3m	排水路 (不要)
[e]	慣行水田	3m	排水路 (不要)
[f]	慣行水田	0.5m	1m以上を緩衝地帯とし別収穫する。
[g]			

航空防除対象地域に (含まれる・含まれない)

※航空防除対象地域に含まれるか否について、該当する方に

【重要】

緩衝地帯を設置した場合、設置した緩衝地帯の距離、緩衝地帯内の収穫物の処理(例: 収穫しない、別収穫する、最初から作付しない等)についても記載して下さい。

★農B1-4-②

20 年 月 日作成

有機ほ場の周辺図

有機ほ場及び栽培場の周辺の詳細を記入してください。

農 家 名		自農 太郎								
通し番号	4 5	通称名	駅裏1 駅裏2	地目と主な 栽培品目	4は梨園 5は畑で葉菜類					
				隣接地の 土地利用	隣接地ま での距離	汚染防止対策				
				[a]	山林 (法面)	0m	薬剤散布なし (不要)			
				[b]	施設2 作業倉庫	0m	除草剤散布なし (不要)			
				[c]	慣行果樹園	5m	町道 (不要)			
				[d]	慣行果樹園	0m	1m以上を緩衝地 帯とし栽培しない			
				[e]						
				[f]						
用水の水源		パイプライン (◇◇川より)		[g]						
浄化水田設置の必要性		有・無		航空防除対象地域に (含まれる・含まれない)						
通し番号		通称名		地目と主な 栽培品目						
【重要】 隣接地がほ場でなく、住宅、公園、学校、駐車場などであっても、植木への薬剤の散布や除草剤の散布が行われたりすることもありますので、必ず確認を行ってください。				隣接地の 土地利用	隣接地ま での距離	汚染防止対策				
				[a]						
				[e]						
				[f]						
				[g]						
				用水の水源				[g]		
				浄化水田設置の必要性		有・無		航空防除対象地域に (含まれる・含まれない)		

※航空防除対象地域に含まれるか否について、該当する方に印を付けてください。

★農B2-1

20〇〇年 〇〇月〇〇日作成

有機農産物の生産に使用する施設一覧

農 家 名		自農 太郎		
施設 番号	施設名及び所在地	個人・共有	使用目的	施設内での病害虫対策
1	施設名： 作業所 所在地： 〇〇県 △△市 □□町 2-32	本人・共同	農産物保管・調製・出荷・格付 備品保管・機械保管・資材保管 その他（ ）	ネズミ捕りシート設置
2	施設名： 作業倉庫 所在地： 〇〇県 △△市 □□町 2001-5	本人・共同	農産物保管・調製・出荷・格付 備品保管・機械保管・資材保管 その他（ ）	なし
3	施設名： △△氏宅選果場（委託） 所在地： 〇〇県 △△市 □□町 12-18	本人・共同 △△氏	農産物保管・調製・出荷・格付 備品保管・機械保管・資材保管 その他（ ）	ネズミ捕りシート設置
	施設名： 市町村名を省略せず地番まで正確に記載して下さい。	以下の施設は、全て記載して下さい。 ・有機農産物を保管・貯蔵する施設 ・有機管理に使用する肥料や土壌改良資材などの資材を保管する施設 ・有機農産物の調製作業を行う施設 ・育苗を行う施設 ※機械や器具等の保管のみを行う施設については、この一覧に記載して頂く必要はありません。 ※生産管理の一部を委託する場合は、その管理で用いる委託先の施設も記載して下さい。 ※この一覧に記載のある施設は、委託先の施設を含めて全て現地確認を行います。 ※委託先の施設やそこで使用される機械等の管理責任も生産行程管理責任者にあります。		
	施設名：			
	所在地：			
	施設名：			
	所在地：			

※「使用目的」は該当する項目に印をつけて下さい（複数可）。

★農 B 2 - 2

農 B2-1 に記載した全ての施設について、記載して下さい。

2 0 〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日 作成

有機農産物の生産に使用する施設等の見取り図

農 家 名	自 農 太 郎
施設番号 1	施設名 作業所

要注意 同じ名前の機械等は番号を付して管理するようにして下さい。

入口

慣行農産物 保管場所

有機農産物 保管場所

保冷库

慣行農産物 保管場所

有機農産物 保管場所

有機用資材保管場所

慣行用資材保管場所

乾燥機 1

乾燥機 2

乾燥機 3
有機専用

籾摺り機

精米機 2

精米機 1

計量機

色彩選別機

20 m

30 m

※施設一覧(農 B2-1)に記入した施設全て
の見取り図を作成して下さい(内容が的確
に確認できれば1枚の用紙に複数の施設
を記入しても構いません)。

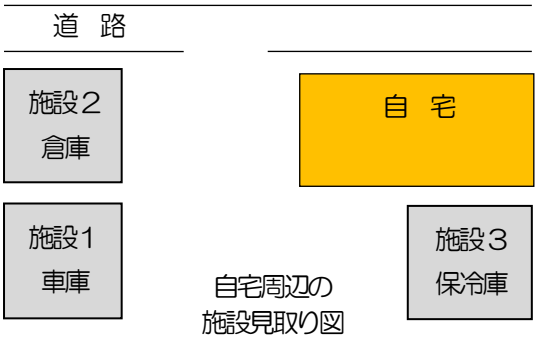
※見取り図には以下の場所を必ず記入して
下さい(非有機の取り扱いもあればそれも
記入して下さい)。

- ◆ 収穫物の保管場所
- ◆ 調製作業を行う場所
- ◆ 資材(肥培管理用・一般管理用)、農薬
及び薬剤の保管場所
- ◆ 使用機械の設置場所など
- ◆ 農薬や薬剤使用の場合はその設置場所

※建物の寸法(横・縦)を必ず記入して下さい。

※2階建ての場合には、2 階部分の見取り図
も作成して下さい。(有機管理で使用しなけ
れば不要です)。

※同じ敷地内に施設が複数ある場合はその
位置関係が分かるように以下のような図を



建物の寸法(縦・横)を必ず記載して下さい(単位:m)。

★農C－1

20〇〇年〇〇月〇〇日作成

有機農産物の生産に使用する器具・備品一覧

農 家 名		自農 太郎					
No.	備 品 名	使 用 目 的	規 模 容 量	数 量	設置又は 保管場所	有機 と非有機との利用区分 (※兼用の場合は区分方法を記載)	備考（洗浄方法など）
1	コンテナ大	収穫物保管	30×80 cm	50	1	専・兼（ 有機は青・慣行は赤 ）	使用前に洗浄（水洗い）
2	コンテナ小	収穫物保管	20×60 cm	120	1	専・兼（ 同 上 ）	同 上
3	計量器L	計量	100kg まで		1・2	専・兼（ 洗 浄 ）	使用後に洗浄（水拭き） 使用前に洗浄済み確認
4	水稻育苗箱	育苗	平箱	200	1	専・兼（ 同 上 ）	使用前・後に洗浄
5	ポリタンクL	資材散布	500L	2	1・2	専・兼（ — ）	有機ほ場専用
6	ドラム缶	ボカシ製造	100L	14	2	専・兼（ — ）	ボカシ製造以外に使用しない
7	グリーンコンテナ	モミ運搬	1t	1	1	専・兼（ 清 掃 ）	有機での使用前に清掃 （エアー・箒はき）
8	手動噴霧器	液肥等散布	20L	1	2	専・兼（ 洗 浄 ）	使用後に洗浄 使用前に洗浄済み確認
9						専・兼（ ）	
10						専・兼（ ）	

※器具・備品とは収穫物や投入資材の運搬・保管、仕分け、散水、計量等の作業を行うために主に使用するもの等です。グリーンコンテナ、収穫コンテナ、ポリタンク、計量器、育苗箱、その他。鍬や鎌、剪定鋏、スコップ等の記入は不要です。

※有機専用か有機と非有機と兼用か利用区分を明記して下さい。

要注意

- ・同じ名前の機械等は番号を付して管理するようにして下さい。
- ・大型機械等で施設に設置しているものは、施設の見取り図に設置場所を記載して下さい。

★農C-2

有機農産物の生産に使用する機械等一覧

農 家 名		自農 太郎					
No.	機 械 名 (形式・メーカー名)	規模	個人 ・ 共有	数 量	設置又は 保管場所	有機と非有機との利用区分 (※兼用の場合は区分方法を記載)	備考 (洗浄方法など)
1	トラクター	25ps	個・共	2	1	専・兼 (使用前後の清掃・確認)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)
2	管理機	5ps	個・共	1	2	専・兼 (同 上)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)
3	田植機 1	6 条	個・共	1	1	専・兼 (—)	使用後に清掃
4	水田除草機	4 条 (2ps)	個・共	1	1	専・兼 (—)	使用後に清掃
5	刈り払い機 1	2ps	個・共	1	1	専・兼 (—)	使用後に清掃
6	コンバイン 2	4 条	個・共	1	1	専・兼 (—)	使用後に清掃
7	乾燥機 3	20 石	個・共	1	1	専・兼 (—)	使用後に清掃
8	糶摺り機	—	個・共	1	1	専・兼 (使用前後の清掃・確認)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)
9	精米機 1	—	個・共	1	1	専・兼 (同 上)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)
10	精米機 2	—	個・共	1	1	専・兼 (同 上)	使用後に洗浄、使用前確認 (機械の使用・清掃記録を作成確認)

※有機に使用する機械は全て記入して下さい。トラック、トラクター(各種アタッチメント等も)、耕耘機(管理機)、除草機、草刈機、動力散布機、ポンプ類、田植機、コンバイン、乾燥機、モミすり機、精米機、ブロードキャスター、選果機、攪拌機、その他。

※有機専用か有機と非有機と兼用か利用区分を明記して下さい。

★農 D-1

2012 年 12 月 20 日作成

自家製資材の製造方法

自家製資材名 ボカシ II 型		農家名 自農 太郎				
資材の特徴 (作り方・使用目的等)		材料を混合した後、微生物資材の SMK 菌と糖蜜の希釈液をさらに混合し、良く混ぜた後にポリタンクの中で半年以上発酵熟成させる。肥料及び土壌改良材として土壌に施用する。				
No	原 材 料 名	入 手 先	製造メーカー名	資材証明書の有無	配合比率	ほ場での使用量
1	魚粗粕粉末 5 号	外部・内部	〇〇肥料(株)	有 ・ 無	10.0	単位は Kg (L) /10a 年間約 200 kg/10a
2	なたね油粕粉末	外部・内部	(株)△△油脂	有 ・ 無	10.0	
3	米 糠	外部・内部		有 ・ 無	10.0	
4	SMK 菌	外部・内部	□□微生物研究所	有 ・ 無	0.1	
5	糖 蜜	外部・内部	◇◇精糖(株)	有 ・ 無	0.1	
6	水	外部・内部		有 ・ 無	0.8	

- 7
- 8
- ・事業者自身が製造（混合・加工）する 1 資材につき 1 枚作成して下さい。自家製の堆肥、ボカシ、発酵液などが該当します。
 - ・原材料名欄に記載がある資材については農林規格に適合していることを確認して、「農 A-4 肥料及び土壌改良資材リスト」へ記載して下さい。
 - ・全ての原材料について内容証明書を提出することを原則とします。ただし、米糠や粃殻等は内容が確認できていれば、外部入手のものでも資材証明書の取得は不要です。
 - ・有機 JAS 資材評価協議会の適合性評価済み資材リストに記載されている資材についても資材証明書の取得は不要です。
 - ・原材料名欄に記載する資材名は、その資材が特定できるように資材証明書に記載されている正式名称、若しくは農 A-4 リストに記載した愛称、略称等を記載して下さい。

※土

※育

※本

農M-1-① 栽培計画書

栽培計画書はこの書式を使用しなくても、必要事項（この書式と同じ項目の内容）が記載されていれば、どのような書式でも構いません。

20190401 版

農 家 名 自 農 太 郎					作 成 日 2014年 3月 5日												
栽 培 計 画 年					2014 年												本年度使用予定の肥料 土壌改良剤及び農薬他
ほ場 番号	品 目 名 (品 種)	予定作付面積	予定生産量	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1	タマネギ (ターボ)	10 a	4,000 kg	有・転									肥 ●		▲		・貝化石 ・自家製ボカシ ・グアノ3号
1	ナス (千両5号)	10 a	2,300 kg	有・転		肥 ●			▲		追						・貝化石 ・自家製ボカシ ・純粋木酢液
2	水稻 (キヌヒカリ)	30 a	1,400 kg	有・転					●	▲		追			■	肥	・自家製ボカシ ・米ヌカ ・ハーモニーシェル
3	トマト (桃太郎)	500 m ² (ハウス)	1,200 kg	有・転								肥 ●		▲			・貝化石 ・自家製ボカシ ・自家製EM5 ・木酢液
3	ハウレン草 (次郎丸)	15 a	2,000 kg ×2	有・転			肥 ●						肥 ●				・貝化石 ・自家製ボカシ ・グアノ7号
4	水稻 (コシヒカリ)	全面積	1,600 kg	有・転				●	▲			追			■	肥	・自家製ボカシ ・米ヌカ ・ハーモニーシェル ・有機1号
5	ウメ (南高梅)	30 a	3,600 kg	有・転				土	土				肥 ●			剪	・EM5 ・自家製ボカシ ・純粋木酢液
・ほ場をいくつかに分けて、異なる作物を栽培する場合は、それぞれの作物について、予定作付面積を記載して下さい。 ・同じ面積で複数回、作物を栽培する場合の予定作付面積は、最初の1回分の面積で記載して下さい。 ・有機ほ場の全面積を使用して栽培する場合は、面積欄に「全面積」と記載すれば、具体的な面積の記載は不要とします。																	
【記号説明】 【●】は種 【▲】定植 【肥】基肥 【追】追肥 【土】土壌改良剤・その他の資材施用 【■】収穫 【剪】剪定 【—】栽培期間 ※予定作付面積は、認証面積を越えないように記入して下さい。 ※使用予定の資材名は、農A-4リストに記載されている正式名称、愛称、略称で記入して下さい。 ※本計画書や生産管理記録等に使用資材名を愛称、略称で記入する場合は、農A-4リストに愛称、略称を明記して下さい。																	
今年から新しく使う資材 (あり・なし) ・グアノ3号 ・有機1号																	

- ・全ての有機ほ場について、年間の栽培計画を立て、提出して下さい。
- ・認証後は、毎年提出して下さい。
- ・この計画年に追加申請するほ場も記載して下さい。

農M-1-② 栽培計画書 2014 年

農 家 名	自農 太郎	作成日	2014 年 3 月 15 日			
ほ場番号		2	3	15	20	
区 分		有機・転換期間中	有機・転換期間中	有機・転換期間中	有機・転換期間中	
品目名（品種）		ナス (千両5号)	キャベツ (YR35号)	梨 (豊水)	水稻 (コシヒカリ)	
予定作付面積		20 a	10 a	30 a	30 a	
予定生産量		16 t	春 4t/秋 4t	1,500 kg	1,400kg	
1 月	ほ場をいくつかに分けて、異なる作物を栽培する場合は、それぞれの作物について、予定作付面積を記載して下さい。 同じ面積で複数回、作物を栽培する場合の予定作付面積は、最初の1回分の面積で記載して下さい。		肥		剪	
2 月		肥				
3 月						
4 月						
5 月						
6 月						
7 月		追				
8 月						
9 月						
10 月						
11 月				土	肥	
12 月				肥		

【記号説明】

【●】は種 【▲】定植 【■】収穫 【剪】剪定 【—】栽培期間

【土】土壌改良剤・その他の資材施用 【肥】施肥 【追】追肥

※果樹類や茶木類のように栽培が続く場合は、栽培期間を示す線を上から下まで記入して下さい。

本年使用予定の資材（肥料・土壌改良剤・農薬など）

・自家製ボカシ ・貝化石 ・EM5号 ・木酢液 ・EM1 ・EM3 ・糖蜜

今年から新たに使う資材（資材名）

・ヒトデミックス肥料

・全ての有機ほ場について、年間の栽培計画を立て、提出して下さい。

・認証後は、毎年提出して下さい。

・この計画年に追加申請するほ場も記載して下さい。

※予定作付面積は、認証面積を越えないように記入して下さい。

※使用予定の資材名は、農 A-4 リストに記載されている正式名称、愛称、略称で記入して下さい。

※本計画書や生産管理記録等に使用資材名を愛称、略称で記入する場合は、農 A-4 リストに愛称、略称を明記して下さい。

農M－2 有機JAS格付実績報告書（2018年4月1日～2019年3月31日）

2019 年 6 月 25 日作成

生産行程管理者名（グループ名）		格付責任者名
熱海有機生産グループ		自農 花子
格付した有機農産物名		総 量
1	米	17,400 k g
2	大豆	2,500 k g
3		k g
4		k g
5		k g
6		k g
7		k g
8		k g
9		k g
10		k g

※出荷の有無、格付表示の有無に関わらず、格付検査（生産行程の検査）で合格した数量（格付数量）を生産行程管理者として報告して下さい。

※グループで認証を受けている生産行程管理者は、全農家の格付数量の合計を農産物の種類ごと（別紙参照）にまとめて報告して下さい。なお、各農家が個々に報告することはやめて下さい。

※報告期間は前年4月1日～今年3月31日

※格付実績報告書は、格付規程に定めている期日（遅くとも6月末日）までに認定事務局に提出して下さい。

格付実績報告有機農産物分類基準(目安)

1	野菜	タケノコ、大麦若葉、明日葉及びイチゴ、メロン、スイカ等の果実的野菜類を含む。スプラウト類を除く。
2	スプラウト類	
3	果樹	
4	米	稲
5	麦	小麦、大麦
6	そば	
7	大豆	
8	その他豆類	落花生含む
9	雑穀類	トウモロコシ、きび、アマランサス など
10	ごま	
11	緑茶	生葉、荒茶
12	その他茶葉	紅茶の生葉(注1)、ルイボス など
13	コーヒー生豆	
14	ナッツ類	栗を含む
15	さとうきび	
16	こんにゃく芋	
17	パームフルーツ	
18	きのこ類	
19	桑葉	
20	植物種子	ひまわりの種、菜種、亜麻の種 など
21	香辛野菜、香辛料原料品	ハーブを含む(注2)
22	カエデの樹液	
23	その他の農産物	1～22以外の農産物

注1：紅茶の荒茶は加工食品に分類されます(農産物ではありません)。紅茶の場合、有機農産物の生産行程管理者が格付けできるのは生葉だけで、荒茶は有機加工食品の生産行程管理者でなければ格付できません。

注2：乾燥ハーブ、ハーブティーは加工食品です。農産物ではありません。

-記入例-

農 M-3 有機 JAS 認証に係るほ場の面積報告書(2019 年 3 月 31 日時点)

2019 年 6 月 15 日作成

生産行程管理者名（グループ名）		熱海自然農法グループ				
報告者名		自農 太郎				
合計 ①+②+⑥	①田	②畑 (③+④+⑤)	③普通畑	④樹園地	⑤牧草地	⑥その他
121.3 a	70.8 a	50.5 a	30.5 a	20.0 a	a	a

※単位は a（アール）で、小数点第 1 位まで記載してください。

※グループの事業者は、グループの農家全ての合計値を記載してください。

※ほ場面積は、認証事項一覧（有機ほ場一覧）に記載されている面積をもとに記載してください。

※毎年 3 月 31 日時点での耕作状況をもとに、ほ場の種類別に記載してください。

※田（水稻）の輪作及び裏作で農産物を生産したほ場については、田としてください。

【ほ場の種類の分類について】

- ①田………… たん水設備（けい畔など）とこれに所用の用水を供給しうる設備（用水源・用水路）を有する耕地をいう。
- ②畑………… 田以外の耕地をいい、通常、畑とよばれている普通畑のほか、樹園地及び、牧草地を含む。
- ③普通畑…畑のうち樹園地及び牧草地を除いた畑。
- ④樹園地…果樹、茶などの木本性作物を 1a（アール）以上集団的（規則的、連続的）に栽培する畑をいう。なお、ホップ園、バナナ園、パイナップル園及びたけのこ栽培を行う竹林を含む。
- ⑤牧草地…牧草の栽培を専用とする畑をいう。
- ⑥その他…きのこ栽培における採取場等

農M-3 認証に係るほ場の面積報告書(2019年3月31日時点)【グループ用】

※青字が記入例です

2019年 4月 15日作成

生産行程管理者名(グループ名)		熱海自然農法倶楽部										
報告者名		自農太郎										
生産農家名	合計面積 (①+②+⑥)	①田		②畑 畑合計面積 (③+④+⑤)	③普通畑		④樹園地		⑤牧草地		⑥その他	
		ほ場数	面 積		ほ場数	面 積	ほ場数	面 積	ほ場数	面 積	ほ場数	面 積
熱海幸助	90.8	3	60.3	30.5	2	30.5	0	0	0	0	0	0
桃山次郎	201.0	5	150.5	50.5	0	0.0	5	50.5	0	0	0	0
自農太郎	265.7	1	25.7	240.0	8	240.0	0	0	0	0	0	0
グループ合計	557.5		236.5	321.0		270.5		50.5		0		0

※ほ場数は、認証ほ場がいくつあるか合計の数を記載してください。ほ場面積の単位はaアールで、小数点第一位まで記載してください。

※ほ場面積は、認証事項一覧(有機ほ場一覧)に記載されている面積をもとに記載してください。

※表中のセルが白のところに入力してください。グレー色のセルは自動計算されますので入力不要です。

農S-1 生産管理記録

(記録期間 2022 年 10 月から 2023 年 9 月まで)

農 家 名		ほ場番号	ほ場面積	栽培品目 (品種)	種・苗の有機性 (採種ほ場) 又は購入種・苗使用の理由		2 番ほ場から自家採取した種 粳を使用	
自農太郎		1, 2	57a	イネ (コシヒカリ)				
年月日	作業内容	使用種子・苗/使用資材		使用機械・器具			備 考	
		種子・苗名 資材名	数 量	機械名 器具名	清掃実施			清掃方法
年をお忘れなく					使用前	使用后		
2022 年 10/9	慣行水稻刈取り				☐	☐		
2023 年 4/25	耕起・元肥施用	牛糞▼▼	1t/10a	トラクター マニースプレッ	☒	☒	水洗い	
4/30	入水							
5/3	代かき・EM 流し込み	EM 活性液	100L/10a		☒	☒	水洗い	
5/20	田植え	自家育苗	20 箱/10a	田植機	☒	☒	水洗い	
6/10	除草			除草機	☒	☒	空気洗浄	
6/25	EM 流し込み	EM 活性液	100L/10a		☐	☐		
7/3	ボカシ散布	ボカシⅡ型	60kg/10a	散布機	☒	☐	空気洗浄	
8/10	除草				☐	☐		
9/24	稲刈り (ほ場 1 の緩衝地帯)			コンバイン	☐	☒	空気洗浄	
9/25	稲刈り (ほ場 1)			コンバイン	☒	☐	空気洗浄	
9/26	稲刈り (ほ場 2)			コンバイン	☒	☒	空気洗浄	
9/26	乾燥 (施設 1)			乾燥機	☒	☒	空気洗浄	
9/27	粳摺り (施設 1)			粳摺り機	☒	☒	空気洗浄	
9/30	選別・調製・袋詰 (施設 1) 【30kg×96 袋 (玄米)】			選別機 調製機	☒	☒	空気洗浄	
					☐	☐		
					☐	☐		

「生産行程の検査」で使用する管理記録の書式はこれ以外でも構いませんが、その際は、どの管理記録の書式を使用するのか内部規程に決めて下さい。

日々の作業について、直接この記録書式に記入しても良いですし、或いは一旦、手帳や作業日誌に記録してその後、この記録書式に転記しても構いません(生産行程の検査を実施するまでに転記しておく必要があります)。

種子繁殖する品種の育苗は「育苗管理記録」も作成が必要です。

基本は、ほ場番号ごとに用紙を分けますが、複数ほ場を記載する場合は、どこでの作業か分かるようにして下さい。

収穫後、複数ほ場分の荷口とまとめて作業する場合は、施設での作業記録を別紙にすることもできますが、最終的に出荷した農産物がどのほ場のものであったか荷口を追えるように記録して下さい。

ほ場内の緩衝地帯にある農産物は、有機農産物にならないので、必ず別管理して下さい。

緩衝地帯の有無	☒ 有 ☐ 無
緩衝地帯作付の有無	☒ 有 ☐ 無
緩衝地帯作付有の場合の処理	
別収穫日: 2023 年 9 月 24 日	
別収穫量: 100 kg	
別収穫物の処理:	
☒ 慣行扱い ☐ 自家消費	
☐ その他 ()	

農 S - 2 育苗管理記録 (2023 年)

農 家 名	自農 太朗			育苗した作物名 (品種名)	イネ (コシヒカリ)						
種子の入手先	有機ほ場 2 番から自家採取した種子										
育苗場所 (※)	有機ほ場		登録施設	施設 4 の育苗ハウス			植付ほ場	1, 2			
年月日	作業内容 年をお忘れなく	使用資材名		使用機械・備品名				育苗土 (※)			
		名 称	数 量	名 称	清掃実施		清掃方法	使用資材名	製造メーカー	資材証明書の有無	配合割合 (%)
					使用前	使用后					
2022 年 10/20	床土配合	詳細右記	700L		☐	☐		山土	(株)〇〇土建	有	300L
2023 年 3/1	育苗箱準備		350 箱	育苗箱	☒	☐	水洗い	ボカシⅡ型	自家製	無	20L
3/3	塩水選	食塩	1kg (比重 1.15)		☐	☐		くん炭	自家製	無	100L
3/3	種子浸種	EM 活性液	50cc (500 倍)		☐	☐		土壌	2 番ほ場から採取した土	無	280L
4/1	催芽			催芽機	☐	☐					
4/2	播種 覆土	種粃 山土	45kg 150L		☐	☐					
4/2	プール配置 以降適宜灌水		350 箱		☐	☐					
4/14	プールへ入水				☐	☐					
4/20	EM 流し込み	EM 活性液	500cc		☐	☐		備考 (育苗土の製造方法等) 上記の原材料を混合して堆積発酵させる。 育苗土熟成期間日数 約 90 日			
5/1	EM 流し込み	EM 活性液	500cc		☐	☐					
5/20	苗搬出			苗取り板 軽トラック	☒	☐	水洗い				
					☐	☐					

※有機ほ場で育苗を行う場合は、有機ほ場番号を、登録施設で育苗を行う場合は、施設番号を記入して下さい。

※育苗土が自家製の場合、材料、配合割合を記入し、製造方法について備考欄に記載して下さい。

農 S-3 使用種苗リスト (2023 年の使用種苗)

農 家 名		自農 太朗							
No	作物名・品種名 種子・苗の別	入手方法（ 入手先 ）(※)	組換え DNA 由来 種子の有無	種子・苗 の種類(※)	非有機苗の 確認（※）	非有機種子・苗 の入手の理由	播種又は植付 けたほ場番号	備 考	
1	作物名（ イネ ） ☒ 種子 品種名（ コシヒカリ ） ☐ 苗	☒ 自家採種（ 2 番 ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☒ 無	☒ 有・不・他	☐ 使用無		1, 2		
2	作物名（ トマト ） ☐ 種子 品種名（ 桃太郎 ） ☒ 苗	☐ 自家採種（ ） ☒ 購入（ ○○農協 ）	☐ 有 ☒ 無	有・不・ ☒ 他	☒ 使用無	育苗失敗	5	内容証明書 入手済み	
3	作物名（ ホウレン草 ） ☒ 種子 品種名（ ラビット ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☒ 購入（ ○○農協 ）	☐ 有 ☒ 無	有・不・ ☒ 他	☐ 使用無		5		
4	作物名（ ） ☐ 種子 品種名（ ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☐ 無	有・不・他	☐ 使用無				
5	作物名（ ） ☐ 種子 品種名（ ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☐ 無	有・不・他	☐ 使用無				
6	作物名（ ） ☐ 種子 品種名（ ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☐ 無	有・不・他	☐ 使用無				
7	作物名（ ） ☐ 種子 品種名（ ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☐ 無	有・不・他	☐ 使用無				
8	作物名（ ） ☐ 種子 品種名（ ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☐ 無	有・不・他	☐ 使用無				
9	作物名（ ） ☐ 種子 品種名（ ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☐ 無	有・不・他	☐ 使用無				
10	作物名（ ） ☐ 種子 品種名（ ） ☐ 苗	☐ 自家採種（ ） ☐ 購入（ ）	☐ 有 ☐ 無	有・不・他	☐ 使用無				

※入手方法(入手先)について、自家採種の場合は採種したほ場番号を、購入の場合は購入先名(種苗メーカー名等)を記入下さい。

※種苗の種類【有】有機管理で栽培された種子・苗 【不】使用禁止資材を使用せずに栽培・調製された種子・苗 【他】それ以外の種子・苗

※非有機苗を購入して使用する場合(種子・苗の種類で【他】を選択した場合)、ほ場で持続的効果を示す化学肥料や農薬が使用されていないことの確認が必要となります。使用がないことを確認した場合は、使用無に☒して下さい。

農 S - 4 機械使用状況報告書 (2023 年の使用記録)

有機農産物の生産に使用した機械の記録です。同じ機械を有機農産物の生産とそれ以外の農産物の生産の両方で使用している場合に活用頂けます。

農 家 名			自農 太郎												
日付	作業内容	使用 機械名	使用 ほ場番号	栽培区分	清掃実施			日付	作業内容	使用 機械名	使用 ほ場番号	栽培区分	清掃実施		
					使用		清掃方法						使用		清掃方法
					前	後							前	後	
5/1	薬剤散布	噴霧器	20～25	オ・転・慣	☐	☒	水洗い					オ・転・慣	☐	☐	
9/14	収穫	コンバイン	20～25	オ・転・慣	☐	☐						オ・転・慣	☐	☐	
9/24	緩衝地帯 収穫	コンバイン	1, 2	オ・転・慣	☐	☐						オ・転・慣	☐	☐	
9/24・ 26	収穫	コンバイン	1, 2	オ・転・慣	☐	☐	空気洗浄					オ・転・慣	☐	☐	
9/26	乾燥	乾燥機 3	1, 2	オ・転・慣	☐	☐	空気洗浄					オ・転・慣	☐	☐	
9/16	調製	糲摺り機	20～25	オ・転・慣	☐	☐									
9/16	色彩選別	色選機	20～25	オ・転・慣	☐	☐									
9/27	調製	糲摺り機	1, 2	オ・転・慣	☐	☐	空気洗浄								
9/30	色彩選別	色選機	1, 2	オ・転・慣	☐	☐	空気洗浄								
				オ・転・慣	☐	☐									
				オ・転・慣	☐	☐									
				オ・転・慣	☐	☐						オ・転・慣	☐	☐	
				オ・転・慣	☐	☐						オ・転・慣	☐	☐	
				オ・転・慣	☐	☐						オ・転・慣	☐	☐	
				オ・転・慣	☐	☐						オ・転・慣	☐	☐	
				オ・転・慣	☐	☐						オ・転・慣	☐	☐	

・この記入例のように複数の機械を1枚に記載することもできますが、機械ごとに記載する方法もあります。
・実際には、各機械に記録用ノートを備え付けておき、作業後に逐次記録するやり方が望ましいです。
・機械を有機以外にも使用している場合は、有機と非有機の切り替え時に適切な区分管理(有機に使用する前の清掃)が行われていることが必須です。この記録書式は有機・非有機兼用の機械の区分管理が適切に行われていることを記録する書式として活用いただけます。

農 S-5 農薬・薬剤及び調製用資材使用リスト (2023 年の使用記録・又は今後の使用予定資材)

有機農産物の生産ほ場や保管施設において、やむを得ない理由により使用する農薬・薬剤・調製用資材を記入して下さい。

農 家 名		自農 太朗						
日付	使用資材名	製造メーカー名	入 手 先	種類 (○○剤)	JAS1605 区分(※1)	使用場所(※2)	資材使用の理由	使用方法
5/8	α-A 剤	日本除虫菊 (株)	◆◆肥料店	除虫菊乳剤	☒ 表 B.1 ☐ 表 C.1 ☐ 表 D.1	☒ ほ場 (5 番) ☐ 施設 ()	大量発生のアブラムシ防除のため	1000 倍希釈液を 5000L 散布
9/10	α-B 剤	(株) ★日本農薬	JA○○	BT 剤	☒ 表 B.1 ☐ 表 C.1 ☐ 表 D.1	☒ ほ場 (3 番) ☐ 施設 ()	毎年発生が多いコナガ対策のため	1000 倍希釈液を 5000L 散布
11/10	□□焼酎	□□酒造 (株)	□○商店	エタノール	☐ 表 B.1 ☐ 表 C.1 ☒ 表 D.1	☐ ほ場 () ☒ 施設 (2 番)	渋柿の渋抜き	焼酎 (100cc/50 個) に渋柿のへたを浸しビニール袋に入れ 2 週間ほど置く
12/13	トウガラシ ◎◎粉	◎◎有限公司	スーパー ◆◆店	カプサイシン	☐ 表 B.1 ☒ 表 C.1 ☐ 表 D.1	☐ ほ場 () ☒ 施設 (3 番)	施設に設置している機械の配線保護のため	50g を配線に塗布
					☐ 表 B.1 ☐ 表 C.1 ☐ 表 D.1	☐ ほ場 () ☐ 施設 ()		
					☐ 表 B.1 ☐ 表 C.1 ☐ 表 D.1	☐ ほ場 () ☐ 施設 ()		
					☐ 表 B.1 ☐ 表 C.1 ☐ 表 D.1	☐ ほ場 () ☐ 施設 ()		

この書式を農薬等の使用記録として使用する場合は、使用した日付を記載して下さい。

又は、使用記録ではなく今後使用したい農薬等をリストするのであれば、日付の記載は不要です。

※1. 「表 B.1」は農薬、「表 C.1」は薬剤（農産物への混入防止のこと）、「表 D.1」は調製用等資材です。JAS1605 参照のこと。

※2. 使用場所が有機ほ場の場合は有機ほ場番号を、登録施設の場合は施設番号を記入して下さい。

変 更 届

20〇〇年〇〇月〇〇日 作成

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター 御中

既に届けております有機JAS申請に係わる申請書類の内容について、以下のように変更いたしましたのでお届け致します。

No.	届け済み内容	変 更 箇 所	変 更 理 由	添 付 書 類
1	自農太郎氏 5 番ほ場	取下げ	基盤整備の為	農 B1-2
2	自農稲子氏	施設 5 番を追加	米の乾燥調製施設新築の為	農 B1-3, B2-1, B2-2
3	自農健太氏	生産行程管理担当者に追加	担当者の増員の為	農 A-2, A-3
4	格付責任者 自農花子氏	自農大地氏へ変更	自農花子氏高齢の為	農 A-2
5				

生産行程管理者名（認証事業者名）	代表者名（責任者名）	記入者名
熱海有機生産グループ	自農 太郎	自農 大地

公益財団法人 自然農法国際研究開発センター

変更申請書(ほ場の追加)

記入例 (青字の部分)

作成日: 2019年 4月 15日

認証部 御中

ほ場の追加について、以下のように必要書類の提出と共に変更申請いたします。

変更申請の実地確認について、 (希望する方に印をつけて下さい)	☐ 臨時調査で実施する。 ☒ 年次調査と合わせて実施する。
格付表示しての出荷希望時期があれば書いて下さい。	2019年 8月 上 旬頃を希望

生産行程管理者名	東京有機栽培グループ
代表者名	自農 太郎

ほ場の追加申請をしている生産農家名		丸太 高次									
追加申請しているほ場番号		3	4	5							
ア)	☒ 有機ほ場一覧(農B1-2)	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
イ)	☒ 有機ほ場・施設などの位置概要地図(農B1-3)	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ウ)	☒ 有機ほ場の周辺図(農B1-4)	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
エ)	☒ 生産管理記録(育苗があるものは育苗管理記録含む) 1年以上有機管理されたほ場のみ申請が可能	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
オ)	☒ 栽培計画書	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
※追加申請しているほ場の状態(有機・転換期間中)		有	有	転							
カ)	☒ 追加申請しているほ場の地番・面積の根拠となる書類	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
キ)	☒ その他(以下の3点の書類)										
	☒ 肥料及び土壌改良資材リスト(農A-4)										
	リストに追加した資材名	有機ペレットボカシ									
	☒ 資材証明書										
	資材証明書を提出した資材名	有機ペレットボカシ									
	☐ 自家製資材の製造方法(農D-1)										
追加した自家製資材名											

注: グループの2農家以上がほ場の追加申請を行う場合はそれぞれの農家がこの変更申請書を作成して下さい。

注: ア)～オ)の書類の提出は必須ですので、□にはすべて印をつけて下さい。

追加するほ場の記載がそれぞれの書類に記載があるかを確認して□に印をつけて下さい。

注: ※については、追加ほ場の状態が有機なのか転換期間中なのかを記載して下さい。

有機は「有」と転換期間中は「転」と記載して下さい。

注: カ)の書類は、登記簿や市役所・町役場、農協等が発行する土地台帳などが該当します。

注: キ)の書類の提出は必須ではありませんので、必要に応じて提出する際は□に印をつけて下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について全てリストに追加して提出して下さい。追加した資材名をキ)に記載して下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について、全ての資材証明書を取得して、そのコピーを提出して下さい。資材証明書を提出する資材名をキ)に記載して下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、自家製資材があり、農D-1が提出されていないものがある場合、その資材の農D-1を作成して提出して下さい。追加した自家製資材名をキ)に記載して下さい。

変更申請書(生産農家の追加)

記入例 (青字の部分)

作成日: 2019年 5月 20日

認証部 御中

生産農家の追加について、以下のように必要書類の提出と共に変更申請いたします。

変更申請の現地確認について、 (希望する方に印をつけて下さい)		☒ 臨時調査で実施する。 ☐ 年次調査と合わせて実施する。									
格付表示しての出荷希望時期があれば書いて下さい。		2019年 9月 下旬頃を希望									
生産行程管理者名		東京有機栽培グループ									
代表者名		自農 太郎									
追加申請をしている生産農家名		時流 光									
追加する新規の生産行程管理担当者名		時流 光、時流 美津子									
追加する新規の格付担当者名		時流 光、時流 美津子									
ア)	☒ 生産行程の管理または把握の方法及び格付の体制(農A-2)	☒									
イ)	☒ 略歴書(農A-3) 新規に追加した生産行程管理担当者及び格付担当者全員分	☒									
ウ)	☒ 農家基礎台帳(農B1-1)	☒									
追加生産農家が申請しているほ場番号		1	2	3	4	5	6				
エ)	☒ 有機ほ場一覧(農B1-2)	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐
オ)	☒ 有機ほ場・施設などの位置概要地図(農B1-3)	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐
カ)	☒ 有機ほ場の周辺図(農B1-4)	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐
キ)	☒ 生産管理記録(育苗があるものは育苗管理記録含む) 1年以上有機管理されたほ場のみ申請が可能	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐
ク)	☒ 栽培計画書	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐
※追加申請しているほ場の状態 (有機・転換期間中)		転	転	転	転	有	有				
ケ)	☒ 追加申請している農家のほ場の地番・面積の根拠となる書類	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐
追加生産農家が申請している施設番号		1	2	3							
コ)	☒ 有機農産物の生産に使用する施設一覧(農B2-1)	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
サ)	☒ 施設の見取図(農B2-2)	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
シ)	☒ 有機農産物の生産に使用する器具・備品一覧(農C-1)	☒									
ス)	☒ 有機農産物の生産に使用する機械等一覧(農C-2)	☒									
セ)	☒ その他 (以下の3点の書類)										
	☒ 肥料及び土壌改良資材リスト(農A-4) リストに追加した資材名		有機ペレットボカシ								
	☒ 資材証明書 資材証明書を提出した資材名		有機ペレットボカシ								
	☒ 自家製資材の製造方法(農D-1) 追加した自家製資材名		自家製竹酢液、自家製堆肥								

注: グループの2農家以上の追加申請を行う場合はそれぞれの農家がこの変更申請書を作成して下さい。

注: ア)～ス)の書類の提出は必須ですので、□にはすべて印をつけて下さい。

追加するほ場の記載がそれぞれの書類に記載があるかを確認して□に印をつけて下さい。

注: ※については、追加ほ場の状態が有機なのか転換期間中なのかを記載して下さい。

有機は「有」と転換期間中は「転」と記載して下さい。

注: ケ)の書類は、登記簿や市役所・町役場、農協等が発行する土地台帳などが該当します。

注: セ)の書類の提出は必須ではありませんので、必要に応じて提出する際は□に印をつけて下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について全てリストに追加して提出して下さい。追加した資材名をセ)に記載して下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、農A-4に記載がない資材について、全ての資材証明書を取得して、そのコピーを提出して下さい。資材証明書を提出する資材名をセ)に記載して下さい。

追加申請しているほ場で使用された全ての資材の内、自家製資材があり、農D-1が提出されていないものがある場合、その資材の農D-1を作成して提出して下さい。追加した自家製資材名をセ)に記載して下さい。

変更申請書(生産農家の取下げ)

記入例 (青字の部分)

作成日: 2019年 10月 20日

認証部 御中

生産農家の取下げについて、以下のように必要書類の提出と共に変更申請いたします。

生産行程管理者名	東京有機栽培グループ		
代表者名	自農 太郎		

(注1)取下げ申請する生産農家名	時流 光			
取下げ理由	高齢になり、ほ場管理が困難になってきた為			
取下げ申請する生産農家が格付業務を廃止した日	2019年 10月 15日			
取下げ申請する生産農家が4月1日より、格付業務を廃止する日までに格付した農産物の格付実績数量				
格付した有機農産物名	総 量(kg)			
1 有機米	5.690kg			
2				
3				
4				
5				
※この表に全の格付実績が記載できない場合は、別紙を使用して報告して頂いて構いません。				
取下げ申請する生産農家が使用していた有機JASマーク(証票)の処分について				
証票(JASマーク)の種類	処分方法		処分の実施	
1 財団小シール	☐ 廃棄 ☐ 財団に送付 ☐ 箱のマーク除去 ☒ その他(格付責任者に譲渡)		☒ 実施済 ☐ 実施予定	
2 マーク入り10kg米袋	☒ 廃棄 ☐ 財団に送付 ☐ 箱のマーク除去 ☐ その他()		☒ 実施済 ☐ 実施予定	
3 マーク入り5kg米袋	☒ 廃棄 ☐ 財団に送付 ☐ 箱のマーク除去 ☐ その他()		☒ 実施済 ☐ 実施予定	
4 マーク入り2kg米袋	☒ 廃棄 ☐ 財団に送付 ☐ 箱のマーク除去 ☐ その他()		☒ 実施済 ☐ 実施予定	
5	☐ 廃棄 ☐ 財団に送付 ☐ 箱のマーク除去 ☐ その他()		☐ 実施済 ☐ 実施予定	
※この表に全の証票について記載できない場合は、別紙を使用して報告して頂いて構いません。				
取下げ申請する生産農家が開設しているホームページ、看板、カタログ等から有機関連表示の削除(注2)				
ホームページの有無		☒ 有 ☐ 無		
ホームページでの有機関連表示の有無		☒ 有 ☐ 無		
ホームページでの有機関連表示の削除の実施		☐ 実施済 ☒ 実施予定(2014年 11月)		
取下げ申請している生産農家の担当者の取下げ(注3)				
取下げ	☐ 生産行程管理責任者	☒ 生産行程管理担当者	☐ 格付責任者	☒ 格付担当者
		時流 光		時流 美津子
	↓	時流 美津子	↓	時流 光
新規	(注4)		(注4)	
ア)	☒ 生産行程の管理または把握の方法及び格付の体制(農A-2)(注5)			
イ)	☐ 略歴書(農A-3)(注6)			

注1: グループの生産農家2軒以上が取下げを行う場合は、それぞれの生産農家についてこの変更申請書を作成して下さい。

注2: ホームページ等に有機関連表示をしている場合、格付業務を廃止した後は適切に削除して頂く必要があります。

注3: 取下げる担当者にチェック☒して、取下げる担当者の氏名を記載して下さい。

注4: 責任者を取下げる場合は、新規の責任者の氏名を記載して下さい。

注5: 取下げる担当者の記載を削除した変更後のものを提出して下さい。

注6: 責任者として新規に担当者とする場合に作成して提出して下さい。現在の担当者が責任者になる場合は提出は不要です。

☐がある場合は該当する☐にチェック☒して下さい。

重要: 取下げ申請している生産農家の記録類(根拠書類を含む)は、出荷の日から1年以上の保管が必要です。責任者は記録の作成と保管が適切に行われていることを確認して下さい。

送 付 状

自然農法センター 認証部 行

提出年月日： 2019年3月1日

認証事業者名： 熱海有機生産グループ

生産行程管理責任者名： 自農 太郎

以下の書類を提出いたします。

☒ **年次提出書類（毎年提出すべき書類）**

☒ 栽培計画書（ 2019 年分） ↓ 栽培計画書提出時は必ず下記も記載下さい
追加申請（ほ場または生産農家）の有無（☐有 ☒無）

※栽培計画立案の際、本年、追加申請するほ場がある場合は「有」をチェック。ない場合は「無」をチェック

☒ 格付実績報告書 （令和 元年度）

☒ 認証に係る面積報告書（令和 元年度）

☐ **変更申請書（ほ場の追加）** ※ほ場の追加申請をする場合はここをチェック

☐ **変更申請書（生産農家の追加）** ※生産農家の追加申請をする場合はここをチェック

☒ **変更届と関係書類**

※担当者の追加・取下げ、施設の追加・取下げ、資材の追加・取下げ、規程の改訂など、通常の変更に係る書類を提出する場合はここをチェック

☐ **年次調査（実地検査）での要求事項への回答**

☐ **立会い確認書の指摘事項への回答**

※立会い確認書の指摘事項への回答を提出する場合はここをチェック

※提出期限は、原則 2 週間以内です。

☐ **年次調査の結果通知への回答**

※年次調査の結果通知の指摘事項への回答を提出する場合はここをチェック

※提出期限は通知文に記載されています。

☐ **判定結果通知への回答**

※判定結果通知の指摘事項への回答を提出する場合はここをチェック

※提出期限は通知文に記載されています。

☐ **その他の提出書類**

※上記の書類以外に提出する書類がある場合はここをチェック

注：認証部に書類を提出する際は、必ずこの送付状を付けて下さい。

注：複数の書類を提出する場合、該当するすべてのチェック欄にチェックして下さい。